

⑯ 木の実や枝の壁かざり

1 子どもたちに伝えたいこと

- ・自分の家の周りや公園には、さまざまな葉や実をつける植物があることを知る。
- ・工夫することによって、いろいろな工作物ができるることを知る。

2 実施時期：9月～1月

3 実施場所：教室、野外（公園、校庭、雑木林）

4 対象学年：全学年

5 関連教科：生活科、図工、総合

6 時数：2時限

7 事前準備

- ・木の実・小枝・葉の用意
- ・板目紙（はがきからB5サイズ）に紐を通す穴をパンチで開ける



<材料>

8 当日

（1）準備する材料や道具

学校：木の実・小枝・葉、穴を開けた板目紙、紐、木工ボンド、はさみ

どんぐりクラブ：木の実・小枝・葉（補充用）、剪定はさみ、グルーガン

（2）授業の流れ

① あいさつ

② 使う自然物の話

③ はじめに全体の構成を考えて板目紙の上においてみる。

④ 木工ボンドでつける。

⑤ 大きいものや不安定なものはグルーガンでつける。

⑥ 紐を付けて完成

⑦ 発表

- ・作品を見せ合ったり、自分で工夫したところなどを発表する。

⑧ 終わりのあいさつ



<作品-1>



<作品-2>